



令和3年12月20日 撮影

「トップが語る秋田の企業（経営者講話）」

12月8日（水）、1年生を対象に、ニプロ株式会社大館工場から小林京悦氏をお招きし、経営者講話が行われました。

本校の卒業生（第26期）である小林氏は、同社常務取締役 生産事業部長兼大館工場を務められ、医療機器製造で世界シェアトップを目指す大企業の役員として御活躍されております。

「秋田で働くことの意義、秋田の企業の魅力について」という演題で、約40分間エネルギーギッシュに講話していただきました。

同社は日本国内だけでなく、海外にも生産拠点を構えグローバルに事業を展開しておりますが、アジア、ヨーロッパ、北米、南米の12の海外主要工場の責任者はいずれも大館工場出身者とのことでした。世界水準の製品だけでなく、人材をも「秋田から世界へ」を実行している企業であることを生徒は実感していました。

大館工場で働いている従業員のうち、大卒・大学院卒は200名を超え、その1/4は大学院卒であることの説明があり、生徒だけでなく本校職員も身乗り出してデータを見ていました。工学・理工系学部出身者の割合が高いものの、文系学部出身者も多く、幅広い学部学科から採用していることが分かりました。

最後に、高校生に望むこととして、①引き出しを持つということ（知識・挫折・人間関係） ②チャレンジする人間 ③秋田で働くということ ④秋田の企業の魅力 について熱く語ってくれました。苦しい時は大館鳳鳴高校の校歌を思い出してほしいと締めくくり、あっという間に40分間が過ぎました。

生徒が地元企業について理解を深めるとともに、グローバルな視点で物事を考え、志を高く自分の希望する進路に向かって努力するために背中を押してくれた素晴らしい講話でした。御多用の中、本校生徒のために御講話くださいました小林京悦様に深く感謝いたします。



探究活動発表会及び理数科課題研究成果発表会

12月16日(木)3,4校時、普通科1,2年生による探究活動発表会が行われました。今年度は各クラスに電子黒板が設置されたことから、1,2年生計40班が各教室及び学習室に分かれ、プレゼンソフトを用いて発表を行いました。各班の発表と質疑応答は12分間で行われ、6分の移動時間を挟んで、興味・関心のある他の班の発表を聞きに行くという形態を取りました。

自分たちの普段の生活や地域が抱える課題をテーマにしたもの、SDGsの中からテーマ設定したもの、自然科学をテーマにしたものなど様々な分野の発表が行われました。他の学年、クラスの生徒の前での発表ということで、生徒はかなり緊張していましたが、調査、研究した成果をしっかりと発表することができていました。鋭い質問に苦労しながらも自分たちが持ち得る知識の中から、同じ班の生徒と協力して回答していました。原稿を見ずスライドを見ながら発表する班が多く見受けられました。

テーマだけでは内容が不明なところもありますが、以下に今回発表した研究テーマを掲載します。

Youは何しに日本へ?	スクール革命!!!	花より先生
全部の色を好きになろう	大館から発信!AKITAとは言わせない!魅	異常気象に具体的な対策を
どうする!?どうなる!?「やさしい社会」	かてんこ盛り大館観光マップ決定版	かつて頭が良かった君たちへ~秋田の教育に迫る!~
日本でも起こる人身売買	凍りつくほど効率よく勉強できる方法!?	育に迫る!~
脱・プラスチック苦	筋肉が人々にもたらす幸福とは?	飢餓をなくしちゃおう
LGBTわ~るど	transform for mask to stationery	勉強したいけど寝たい人へ
世界で達成SDGs!実際それってどうなの?ジェンダーレスの実態とは?	Air tag何処へ?	納豆菌が飢餓を救う!?
	鳳鳴高校の勉強で本当に頭が良くなるのか?	ブランリアと水
LGBTQが認められる社会を目指すには??~好きな人と結婚したい!!!~	男?女?それで区別する時代じゃない!!	最大の敵 地球温暖化を倒すには!!
	いざ突入!!ジェンダー平等の時代へ!!	うちらがやならきゃ誰がやる!いざ職業改革
脱・過疎化地域から学ぶ	ハラスメントをハラスメント~セクハラ	環境問題について
いじめは一生無くならない!?	の現状と減少に向けて~	AIと教育
すばらしい提案をしよう。お前も健康にならないか?	外国人ウケの良い秋田を作ろう!	健康とスポーツの関係性とは?
	10代の自殺	選手生命を伸ばす!!
カビから甘酒!?	長寿宣言!?	ロケットを高く飛ばすには?
ごはんを残している人必見!!	秋田県を救う!!	



同日午後からは、2年生普通科及び理数科の代表班による課題研究成果発表会が開催されました。発表の導入部分で動画を入れることで聴衆の興味・関心を引き付けたり、スライドだけでなく実物を聴衆に見せながら研究内容を説明していったりするなど、当日の発表に向けてしっかりと準備がなされていて、学年の代表に相応しい堂々とした発表でした。聴衆からは大人数の中にあっても積極的に質問が出され、問いを発する鳳鳴生の姿が

見られた充実した発表会でした。

以下に発表テーマ等を掲載します。

普通科	<p>アフリカで「密です」～バッタ大量発生の実態と解決策</p> <p>テーマ設定の理由：世界の食料安全保障の課題について調べているとき、サバクトビバッタがアフリカで穀物を食い荒らしている映像を見て、衝撃を受けた。このバッタについては様々な説があり、謎が多い。だからこそ、このバッタからの被害を防ぐ方法を、自分たちで考えてみたいと思った。</p>
普通科	<p>働きがいが大館を面白くする</p> <p>テーマ設定の理由：地元に戻って働きたいと考える人は少ないと思う。そこで自分たちで働きがいを地元で作り出すことはできないのかと考えた。増加傾向にあるドラッグストアの戦略を調べて、ほかの事業にも役立ててみたいと考えた。</p>
理数科	<p>C/C++を用いた移動ロボットの作成</p> <p>研究目標：昨年度の研究では、プログラミング言語のPython言語による経路探索アルゴリズムを用いた移動ロボットを作成した。Start-Goalを設定し、経路探索処理の後、確定した経路に沿って移動する。しかし、経路探索処理時間が長く、ロボットが実際に動くまでに時間がかかり、現実的ではなかった。そこで、今年度はC/C++言語による経路探索アルゴリズムを用いて、処理速度の向上による長距離の走行を目標とした。</p>
理数科	<p>風力発電～風車の回転数が増える条件とは？</p> <p>背景：大館は風が弱い盆地の地形になっている。そこで、弱い風でも回るサボニウム型風車に興味を持ち、一定の風の強さで回転数が一番多い風車の高さを調べ、さらに条件を変えることで、弱い風でも一番よく回る風車を作る研究をしたいと思った。</p>
理数科	<p>身近な物質を用いた色素増感太陽電池</p> <p>背景・目的：近年、二酸化炭素の排出量が増加しており、エネルギー転換部門における二酸化炭素排出量は、全体の約4割を占めている。従来のソーラーパネルはコストが大きいいため、色素増感太陽電池を用いて、二酸化炭素の抑制を図れるのではないかと考えた。しかし、色素増感太陽電池の製作に使われる物質は、容易に手に入るものではない。そこで本研究では、秋田県上小阿仁村で特産品とされているナツハゼを色素として利用し、性能を調べた。</p>

最後に、能代高校の博士号教員 東海林拓郎先生からそれぞれの発表に対して講評をいただきました。普通科の2つの発表には、自分たちの学びの内容から研究に繋がっていることと、SDGsを掲げて研究を進めている点について評価をいただきました。2030年のゴールに向けてどう自分を成長させるかについて、プランを立てて実行していただきたいとのことでした。理数科については、実験の目標がはっきりしていない、やってみた感が強い、対照実験がないなど辛口の評価でしたが、更にステップアップしてほしいという願いが込められた講評でした。



(文責：佐藤貢)